

2009年8月6日

2010年3月期 第1四半期決算説明会 Q&A

テレビ東京 広報・IR部

Q 2009年度の下期の制作費についてはどのような見通しか。

A 4月編成がスタートし、下期の編成も徐々に固まり、予算を組み替えた。上期の余剰分3億円プラス3億円を、10月の改編やアニメの持ち込み番組の制作費に充当。2次利用収入に結びつくことも考える。

Q 2009年度の下期の売上が下振れたときの、制作費の考え方は。

A レギュラー番組の制作費を減らすつもりはない。ライセンス収入や制作費以外の費用も含めて総合的に勘案して決めていく。

Q 2009年度下期のタイム売上の見込みは達成できそうか。他局の動向を見ると厳しそうだが。

A テレビ東京は、2008年度下期のタイム売上から大幅に減少している。その分、他局に比べハードルが低く、下期のタイムの見込みを下げることはしなかった。

Q 視聴率低迷によるタイム売上減少の傾向があるか。

A 営業の現場からそのような状況は聞いていない。

Q BS/CSなどのその他視聴率の伸びに対して対策はあるのか。

A その他視聴率の伸びは経営の大きな課題と捉えている。4月クールのその他視聴率の伸びは野球中継等、一部原因ははっきりとしている。BS ジャパンやグループ内のCSも含めて、全体でどうしていくのか、真剣に検討している。当面は地上波内での競争力を高めることが重要と考えている。それがおのずとBS/CSへの対策となる。



Q 50 億円の長期借入れの目的は。資金は潤沢だと思うが。

A 売上げの入金のサイクルが 3~4 ヶ月。一方、制作費などの支払いは下請法の関係もあり、早まっている。また、東京スカイツリーができるまでに 320 億円の設備投資を行う予定だが、残りはまだ 110 億円ある。2/3 しか終わっていない段階。新規事業にも取り組んでおり、適正なキャッシュポジションを検討して、50 億円の長期借入れを行った。

以上